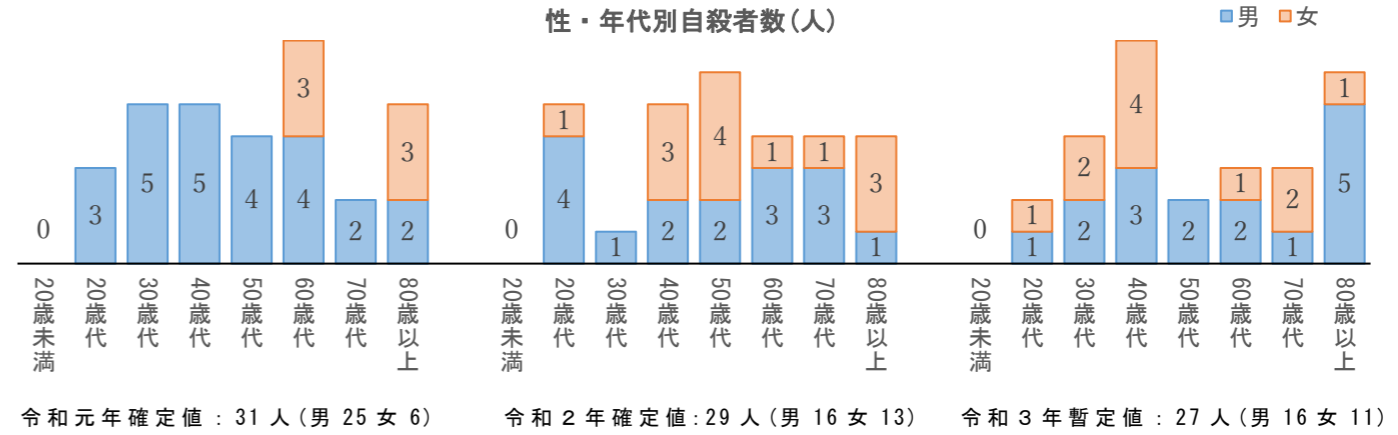
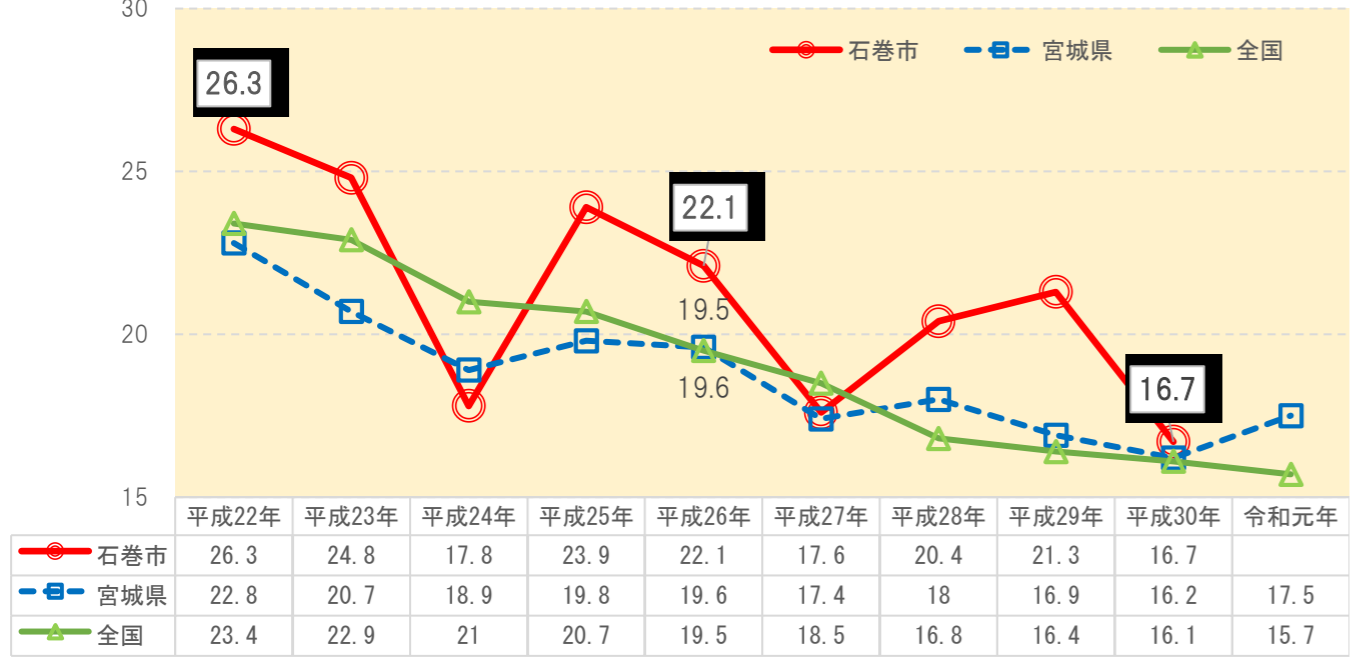


【石巻市の自死の現状について】

自殺死亡率※1の推移「人口動態統計」 住所地を基に死亡時点で計上（日本における日本人）

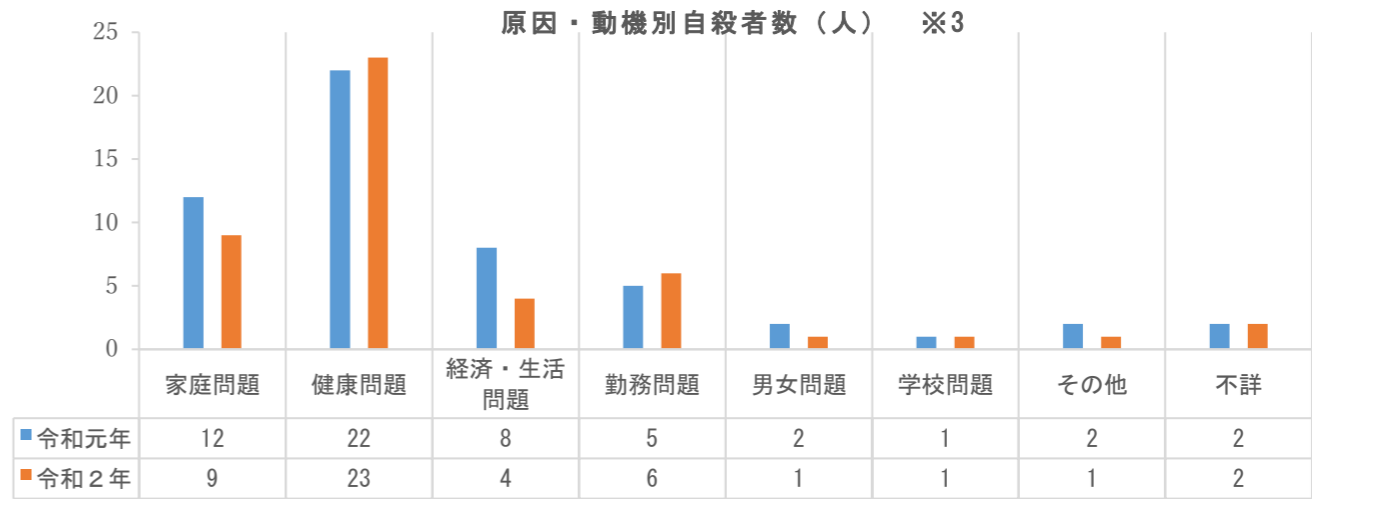
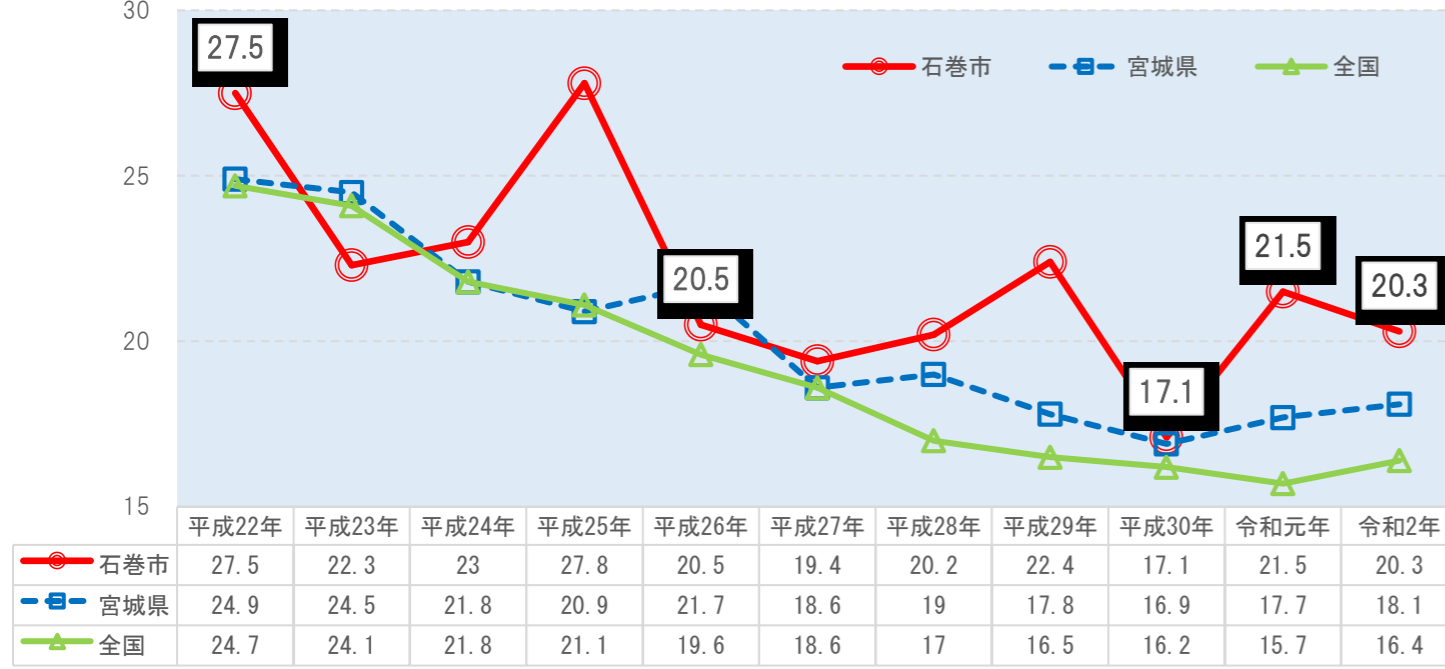


職業別自殺者数

	令和元年		令和2年		令和3年暫定値※2	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
自営業・家族従事者	4人	12.9%	4人	13.8%	1人	5.9%
被雇用・勤め人	8人	25.8%	8人	27.6%	4人	23.5%
無職者	18人	58.1%	17人	58.6%	12人	70.6%
学生・生徒等	1人	3.2%	0人	0.0%	0人	0%
<b>合計</b>	<b>31人</b>		<b>29人</b>		<b>17人</b>	

※2 職業把握 17人/27人中

自殺死亡率の推移「地域における自殺の基礎資料」 発見時点で計上（日本における外国人含む）



※3 原因・動機別自殺者数は、遺書等による資料により明らかにできるものを一人につき3つまで計上可能

自殺死亡率

- ・全国では、平成22年以降10年連続で減少している。本市においても、多少の増減はあるが自殺死亡率は減少傾向である。しかし、宮城県、全国と比較すると高い状況が続いている。
- ・「地域における自殺の基礎資料」では令和元年、2年の自殺死亡率が増加しているため、「人口動態統計」による自殺死亡率も同様に増加すると考えられる。

※1 自殺死亡率：人口10万人あたりの自殺者数を示す（自殺者数÷人口×10万）

資料：地域における自殺の基礎資料より作成

自殺者の詳細

- ・令和2年以降女性の自殺者数が増加している。
- ・年齢別にみると、令和3年は40歳代が最も多く、次いで80歳以上が多い。
- ・20歳、30歳代の自殺者数も多い。全国の若年層の死因の第1位が自殺になっている。
- ・職業別では、無職者の自殺者数が最も多い。
- ・原因・動機別では、健康問題、家庭問題、経済・生活問題が多く、様々な問題が複合化し自死につながっている。